



ヒサ先生へ

お久しぶりです、(^o^)/ヨウコです。覚えてますか？連絡が遅くなってすいません。( > , < ) 何とか無事に国家試験に合格しました！ \ ( ^ ^ ) / 新米医者として働き出しました！

今、母校を離れ、故郷でもない、まったく初めての街の病院で、ちょっと、パニックってます。 = ( . . . ) 何にもわからなくて、毎日がとっても長いようで、またあつという間に過ぎていくようで、わけわかんない~E、という感じです。同期は10人なんですけど、まだ名前すら覚えてなくて...

指導医の先生もちょっとおっかなそうなんですけど、こないだ、(君は将来どんな医者になりたいか?) って、マジできかれて... とっさに、(虹のように色んなカラーを出せる医者になりたい) といったら、(虹か、それは、大事だ。人間の幅を広げないとね、今は無色透明だけだ。いい色を自分で選んで付けなさい) とニコリ笑って、OVER THE RAINBOWを口づさんで、去っていったんです。ちょっと、変わっているでしょう？でも、なんかいい感じです。その時、ふと、オズの魔法使いが大好きなヒサ先生を思い出しました。あっ！ヒサ先生との約束！忘れた！と今頃思い出して、メールしています。

覚えてますか？合格したら、おごってやるといいましたよね。でも、なんか、風の噂では先生、海外へ脱出したとか...本当に虹の向こうへいったんですか？ 虹の向こうへのこのメールがつながるかどうかわかりませんが、とりあえず送ります。

もし、無事ついたら、返事待ってます！(^\_^)/ヨウコより

このコーナーでは、カナダ・トロント大学へ臨床指導医研修を受けに留学中のDr.Hisaと新米研修医Dr.ヨウコとの交換E-mailをご紹介します。

ドクター Hisa

長崎医療センター・教育研修部に所属。

Dr. Hisa

He is a doctor from Japan currently studying Canadian primary care and medical education system. He enjoys having many kinds Beers and jogging when it's -20 outside.

>お久しぶりです、(^o^)/ヨウコです。

ヨウコちゃん、いやヨウコ先生！久しぶりだね。とうとう、医者になったか。おめでとう！十数年前、僕が医学生で、小学生の君を知っていた頃から、医者になりたいって言ってたよね。よかったね！

>なんか、風の噂ではヒサ先生、海外へ脱出したとか...本当に虹の向こうへいったんですか？

そうなんだ。今、カナダにいる。

今、僕は海を越え、虹の向こうに立っている。水平線が目の前に見え、振り返ると地平線が見える。広大な大地と湖。街を歩く人たちの肌や目の色は様々で、着ている服も初めてみるものばかり。SUBWAYの中は英語、フランス語、中国語、スペイン語、アラビア語...様々な言葉が飛び交う。SUBWAYを降りて、花屋、雑貨屋などが並ぶ街を歩いて行く。古い博物館や美術館の立ち並ぶ通りには色づいた葉をつけたメープルの木がたくさん生い茂る。その脇を赤いストライプが一本入った、クラシックなストリートカーが、メープルリーフの赤や黄色の落ち葉をかき分けて、せわしく走り去る。その向こうに見える通りには、近代的な

超高層ビルが立ち並ぶ。見上げると、空には雲ひとつなく、透き通ったブルー。なんて青いんだろう。子供の頃いつも思っていた、It 'far, far away... Somewhere, over the rainbow...そして、今、遠くへ来た、海を越え虹を越えて。ここに。世界の政治、経済、文化を牽引する北アメリカ、広大な大地と特異な歴史のカナダ、多くの移民によるマルチカルチャーな街トロント、その中心にある北米で学生数No. 4の巨大なトロント大学、そしてインスリンを発見したことで有名な医学部。その中でも、世界中から医師が集まるDepartment of Family and Community Medicineに僕は今いる。

>今、母校を離れ、故郷でもない、まったく初めての街の病院で、ちょっと、パニックってます。

おおいに慌てて、日々サバイバル！人生の中で、そんな経験ができるなんて幸せじゃないか。大丈夫、毎日全力

を尽くしていればきっと虹がみえてくるから。体だけは気をつけてね！

僕は、今、大学を卒業した春を思い出す。国試が終わった後、毎日友達と飲み歩き、医者になる期待と不安を語り合い、様々な煩わしい手続きを終えて、どうせ使わないだろうなと思いつつも、試験用のノートなどをダンボールにつめて、最後には、大家さんであるヨウコのお母さんが手伝ってくれて、やっとの思いで引越しを終えた。そして、そのダンボールは開ける暇もなく、慌しく研修生活が怒涛のように始まる。ヨウコも同じだと思う。誰もが通らなければならない道。

サバイバルしていた研修医時代に鮮明に覚えていることがひとつある。研修生活が始まって間もない頃、ヨウコと同じように指導医に聞かれた。「将来何をやる？」何も考えてなかったが、しかし、なぜか「教育

に携わる仕事をしたい」と言ってしまった。それから数年は、もちろんそう言った事もすっかり忘れて、目の前の患者さんのことで頭がいっぱいで、ひたすら病棟と外来を走りまわる生活が続いた。数年後、たまたま今の病院の総合診療科に勤めた。プライマリケア、研修医教育に熱心な先生方との出会いがあった。毎日、研修医とレジデントとともに走り回りながら、教え教えられる日々が続く。多くの研修医が一人前になって旅立つのを見てきた。自然と教育に携わる仕事をしている自分に気づいた。そして、自分ももっと成長したい、虹の向こうへ旅立ち、世界を見たい、聞きたい、感じたいと強く思うようになった。

>こないだ、(君は将来どんな医者になりたいか?) って、マジできかれて... とっさに、(虹のように色んなカラーを出せる医者になりたい)

ヨウコ先生、出会いはほんとに大事だと思う。今の同期や指導医の先生との出会いを大切に、もちろん患者さんとの出会いも。きっと、その人たちが、君の虹の色を決めてくれるんだと思う。

人の出会いは不思議なものだとつくづく思う。数年前、僕の外来へLynnというカナダ人が来た。付き添ってきたアメリカ人の彼はNateといった。幸いにも彼女はすぐによくなった。それがきっかけで、僕たち家族とLynn & Nateは友達になった。カナダに着いた次の週に、彼らの結婚式が世界一の滝、世界一の虹の見えるナイアガラで行なわれた(写真)。僕たちは、初めて見る巨大な瀑布のしぶきと轟音に圧倒され、滝にかかる消えることのない虹の美しさに感動した。そして、神父が言った。これから様々な困難が待ち受けているだろう。しかし、このふたりはきっと、DISCOVER YOUR WAY.



研修医ヨウコにとっても。

僕たちにとっても新しい出発の時だった。そして、

>虹の向こうへのこのメールがつながるかどうかわかりませんが、新米ヨウコ先生、ちゃんとツナガッテイル、よ。これから、時々、虹の向こうのトロントからメールします。こっちの街のことや、研修医や学生の情報も伝えるから、楽しみにね。では、お互いに、元気にスタート！

追伸；5月に京都で世界一般医家庭医学会(WONCA)が開催されるんだ。友達の研修医のDr. Eric Cadeskyがカナダの家庭医学の研修について発表する予定なんだけど、時間が取れたら行ってみたい。(注意：現時点であくまで予定です。詳細は<http://www.wonca2005.jp/kyoto/>)